

# 絆

## 清水はやと ニュースレター KI-ZU-NA

さいたま市長  
**清水はやと**  
2016(平成28)年6月号

### さいたま市を東日本の対流拠点に

#### 東日本の玄関口・大宮、災害時の首都圏のバックアップ拠点

人口減少に負けない  
元気なさいたま市に

みなさまこんにちは。さいたま市長の清水はやとです。

今般の熊本地震におきまして、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

また被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

さいたま市では熊本市に対して、災害用備蓄物資を支援物資として提供し、200名を超える市職員(5月9日現在)を現地に派遣しました。今後も政令指定都市市長会と連携し、現地の状況を踏まえて被災地支援を続けてまいります。

さて、平成28年度がスタートしました。さいたま市の人口は127万5千人を越え、人口増の傾向が続いています。平成27年の国勢調査をみると政令指定都市の中で3番目に人口が増えています。人口のピークが

予想されている平成37年まで10年ほどですが、私は人口減少に負けない元気なさいたま市をつくるために、新年度もより一層効果的な行政運営に取り組みながら、市民や企業から選ばれる都市づくりを進めていきたいと考えております。

#### 人・もの・情報の対流拠点 災害時バックアップ拠点へ

3月26日に北海道新幹線が開業しました。昨年の北陸新幹線の開業と合わせ、鉄道ネットワークのハブとして、新幹線を最大限活用した交流や連携を進めてまいります。

また、3月29日には、首都圏広域地方計画が国土交通大臣によって決定されました。この計画は、首都圏が果たすべき役割や方向性を定め、新しい首都圏の実現に向けたビジョンを明らかにしたものです。この計画の中で「大宮」は、西日本の玄関口となる「品川」と並んで、東日本

#### 東日本の中核都市として 成長発展するまちづくり

の玄関口機能を果たすと位置付けられました。さいたま市は、東北・北陸・北海道などを連結し、人・もの・情報などが集結して交流する対流拠点、あるいは、さいたま新都心付近が災害時の首都圏のバックアップ拠点となる役割も期待されています。

昨年は、東日本全体の成長発展を図るため、本市において「東日本連携・創生フォーラム」を開催いたしました。これまで取り組んできた東日本の中核都市づくりをさらに加速させるため、新年度から都市局に「東日本対流拠点整備課」を新設しました。今後もさいたま市が持つポテンシャルやエネルギーを活かし、東日本全体のさいたま市として、成長発展に繋げていけるようまちづくりを進めてまいります。



**プロフィール** 昭和37年3月生まれ。日本大学法学部卒業後、(財)松下政経塾入塾(第7期生)。埼玉県議会議員(南6区)2期を経て、平成21年5月さいたま市長に当選。平成25年5月に得票数、得票率ともに大きく伸ばして再選。現在2期目。著書は、「2010年震災関物語」(共著/二期出版)「繁栄の法則」(共著/TBSプリタニカ)「犯罪のない安全なまちをつくろう」(共著/埼玉新聞社)「さいたま市未来創造図」(埼玉新聞社)「さいたま市未来創造図②スポーツで日本一笑顔あふれるまち」(埼玉新聞社)。好きな言葉は「素志貫徹」(成功の要諦は、成功するまで続けることにある)。日本サッカーを応援する自治体連盟会長。2013マニフェスト大賞首長グランプリ受賞、共栄大学客員教授他。



高橋はるみ知事と北海道新幹線の開通を祝う



国土交通大臣に地域高規格道路の早期整備を要望



第1回東日本連携・創生フォーラムinさいたま



大きく報道された首都圏の将来像を探るシンポジウム



災害時に備えた防災訓練で陣頭指揮をとる

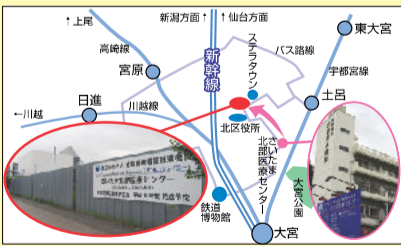
### 災害に強いまちづくりへの取組

- ◆さいたま市立病院の全面建て替え
- ◆さいたま北部医療センターの移転建て替え
- ◆さいたま赤十字病院、小児医療センターの移転建て替え
- ◆(仮称)さいたまセントラルパーク整備事業
- ◆三菱マテリアル跡地への防災公園整備及び公共公益施設(交通広場)等整備事業
- ◆さいたま市防災都市づくり計画の推進
- ◆国の広域防災拠点(TEC-FORCE)
- ◆南浦和駅東口エレベータ設置と東大宮駅耐火改修工事 他

※TEC-FORCEとは、大規模自然災害に対応するため、自治体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するために国土交通省に設置されるもの。



さいたま市立病院の全面建て替え



さいたま北部医療センターの移転建て替え



さいたま赤十字病院、小児医療センターの移転建て替え

### 住みたい・住み続けたいまちへの取組

- ◆大宮区役所移転建て替え
- ◆大宮駅東口大門町2丁目中地区再開発事業
- ◆大宮駅西口第3-A-D地区再開発事業
- ◆浦和駅西口南高砂地区再開発事業
- ◆岩槻駅周辺地区まちづくり事業
- ◆与野本町駅周辺地区まちづくり事業
- ◆浦和美園・岩槻南部地区「スマートホーム・コミュニティ」事業
- ◆(仮称)こども総合センターの整備
- ◆市立中等教育学校の整備 他



大宮駅東口大門町2丁目中地区再開発事業



(仮称)こども総合センターの整備



岩槻駅の橋上駅舎及び東西自由通路設置工事の推進

日本一地域の絆で結ばれたまち

# 2016(平成28)年度さいたま市当初予算

## ◆市民満足度を高め、持続的発展と活力ある未来につなげる予算

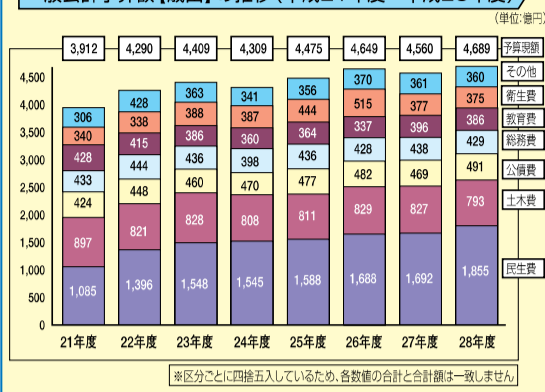
「総合振興計画」の後期基本計画、「成長戦略」「まちひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施するとともに、平成28年度が最終年度となる「しあわせ倍増プラン2013」と「行財政改革推進プラン2013」の総仕上げに向けた予算を編成してスタートしました。市の将来を見据えた「子育て支援」「安心安全」といった分野に予算を重点配分するとともに、東日本の中枢都市構想を推進する施策に積極的な投資を行い、地域経済の活性化や都市のブランド力の向上に資する予算です。

一般会計	4,689億円	前年度比 129億円 ▲2.8%
特別会計	3,294億円	前年度比 61億円 ▲1.9%
企業会計	1,153億円	前年度比 ▲62億円 ▲5.1%
全会計	9,136億円	前年度比 128億円 ▲1.4%

## ◆福祉関係予算は平成21年度と比較して1.7倍に増加

予算歳出は前年度と比較して約129億円増加しています。特定教育・保育施設等運営事業や国の政策に連動して実施する臨時福祉給付金給付事業、さいたま市子ども総合センター整備事業などが増加した要因です。一方、武蔵浦和駅第3街区市街地再開発事業の完了や学校体育館等避難場所機能整備事業、市立学校太陽光発電、蓄電池設置事業の完了など、前年と比べ大きく減額となった事業もあります。特に、民生費（福祉関係予算）は、平成21年度と比較して約1.7倍と大幅に増加しています。

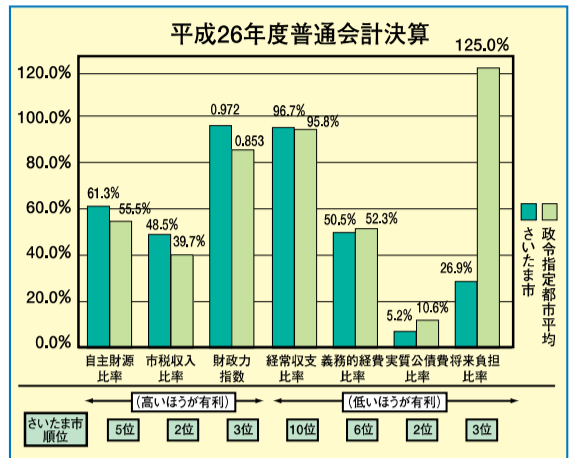
## ◆一般会計予算額【歳出】の推移(平成21年度～平成28年度)



## ◆財政指数の数値が全国政令指定都市の中でも上位に

さいたま市の財政健全化判断比率は国の定める基準を下回っており、財政の健全性を引き続き維持しています。市税収入比率や自主財源比率、将来負担比率など、全ての数値が全国の政令指定都市の中でも比較的上位に位置しています。

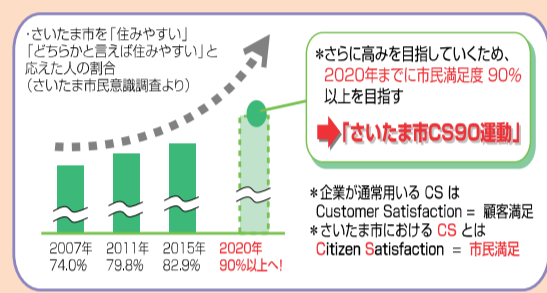
準を下回っており、財政の健全性を引き続き維持しています。市税収入比率や自主財源比率、将来負担比率など、全ての数値が全国の政令指定都市の中でも比較的上位に位置しています。



## ◆もっと身近にもっとしあわせに「さいたま市CS90運動」

さいたま市を「住みやすい」「どちらかと言うと住みやすい」と感じる人の割合は年々増加し、今では80%以上に達します。そこで市では2020年までに市民満足度90%以上を目指す「さいたま市CS90運動」を全庁を挙げて取り組んでいます。さいたま市の魅力をもっと向上させることで、より多くの市民の方に「住みやすい」「これからも住み続けたい」と感じていただくとともに、今後の人

口減少社会の到来を見据え、「選ばれる都市」「持続可能な都市」を目指していくことが大切だと考えています。



## 政令指定都市初「グローバル・スタディ科」スタート 全市立小中学校で新たな英語教育を導入

今年度から全ての市立小中学校で、新しい英語教育「グローバル・スタディ科」を開始しました。政令指定都市で初めて小学校1年生から中学校3年生までの9年間を一貫したカリキュラムで「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能をバランスよく学び、グローバル社会でたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指します。

## 待機児童解消へ保育所新設 29年4月に定員1302名増へ

現在、保育所の待機児童解消を図るため、民間の認可保育所・認定こども園の整備を進めています。平成28年度には1820名の定員増を行い、平成29年4月には16か所・定員1302名の認可保育所等の新設などを予定しています。

## 高齢者の社会参加と生きがいづくり 地域のボランティア活動を推進

市内の60歳以上の方が介護施設等でボランティア活動を行うとポイントが付与され、そのポイントはボランティア活動のための奨励金や、登録されたお店で使用できるシルバー元気応援券(商品券)に交換できます。高齢者の社会参加や地域のボランティア活動を積極的に支援します。

## 「さいたまトリエンナーレ2016」共につくる・参加する国際芸術祭

世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだす国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ」が、9月24日(土)～12月11日(日)まで市内各所で開催されます。子どもから高齢者まで10万人の参加を目指す参加型の国際芸術祭です。ぜひご参加ください。

## 「第2回さいたま国際マラソン」規模拡大し2万人超の市民マラソンに

昨年行われた「さいたま国際マラソン」が、今年は11月13日(土)に規模を拡大して開催されます。2017年ロンドン世界陸上の日本代表選手選考を兼ねた選考レース(日本テレビで全国放送)に予定されているほか、小学生から大人まで楽しめる2万人超規模の市民マラソンになります。ぜひ、みなさん一緒に走りましょう!

## 「さいたまクリテリウム」開催! 今年も世界のトップ選手が集結

世界最高峰のサイクルロードレース「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」が10月29日(土)に開催されます。さいたま新都心を舞台に繰り広げられる世界のトップ選手たちによる熱き戦いは174か国以上に配信されます。昨年実績で経済効果は25億3,500万円、広告効果は10億3,500万円です。

## 変わらぬ現場主義 市民とともに歩む



シニアユニバーシティで市政について講演



市民の皆さんと手話による「さいたま市歌」を披露



放課後チャレンジスクールで子どもたちとともに



市民と一緒に募金を呼びかける



岩槻の「まちかど雑めぐり」に参加

第8回 世界盆栽大会 in さいたま  
The 8th WORLD BONSAI CONVENTION, SAITAMA CITY

## 来年の「第8回世界盆栽大会inさいたま」開催に期待高まる

4年に一度開催される世界盆栽大会が、来年2017年4月にさいたま市で開かれます。1989年、旧大宮市での第1回大会以来、28年ぶりとなる日本開催となり、盆栽文化の普及と技術の向上、国境を越えた親善交流、さらに世界のトップブランド「大宮盆栽」の魅力の世界中に発信します。

■開催期間：2017年4月27日(木)～30日(日)  
■会場：さいたまスーパーアリーナ、大宮ソニックシティ、大宮盆栽村 他

日本一地域の絆で結ばれたまち

市民一人ひとりがしあわせを実感できるまち

